



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年2月10日

上場会社名 株式会社イーディーピー 上場取引所 東
 コード番号 7794 URL https://www.d-edp.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤森 直治
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役兼総務部長 (氏名) 高岸 秀滋 TEL 06-6170-3871
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	2,103	89.4	1,056	172.7	1,047	166.9	727	154.5
2022年3月期第3四半期	1,110	-	387	-	392	-	285	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	294.02	280.29
2022年3月期第3四半期	133.10	-

(注) 1. 2021年3月期第3四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2022年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

2. 2023年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当社は2022年6月27日に東京証券取引所グロース市場へ上場したため、新規上場日から2023年3月期第3四半期会計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	5,743	4,747	82.7
2022年3月期	2,817	2,045	72.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 4,747百万円 2022年3月期 2,045百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2023年3月期	-	0.00	-	-	-
2023年3月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,706	73.3	1,242	138.7	1,217	130.7	840	124.2	339.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

1株当たり当期純利益は、上場に伴う公募株式数（360,000株）及びオーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資分（64,300株）を含めた期中平均発行済株式数により算出しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	2,624,200株	2022年3月期	2,180,800株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	77株	2022年3月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	2,473,196株	2022年3月期3Q	2,146,680株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は、2023年2月10日（金）にTDnetで開示するとともに、当社ホームページ（<https://www.d-edp.jp>）にも掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報)	5
(重要な後発事象)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における世界経済は、ロシアのウクライナ侵攻に端を発したエネルギー価格高騰の余波で、物価が上昇する中、インフレ抑制のための利上げにより政策金利が上昇し、特に米国景気への影響が心配されました。しかし、全般的に懸念されていたほど景気は大幅に減速することなく、推移しました。

こうした経済情勢の中、当社製品の主要なビジネス分野であるLGD市場は、当第3四半期累計期間において継続して市場規模が拡大しております。引き続きLGD製造企業は活発に設備投資を進めており、新規のLGD製造企業が設立され、また、大型の宝石サイズを指向する傾向にも変化はありませんでした。

当社の種結晶ユーザーからの要求についても、引き続き大型品の割合が増加しています。しかし、LGD供給量が増加したことによって、一部のLGDに余剰感が見られました。特に、2カラット以下の小型宝石においては、業者間取引価格に値下がり傾向が見られ、既存のLGD製造業者において、小型宝石生産用の種結晶の購入量を減少させるところが出てきました。

当社は、2021年11月より島工場の建設を進めてまいりましたが、2022年11月22日に稼働を開始いたしました。島工場の稼働により、当社の種結晶の生産能力が拡大するとともに、引き続き生産の効率化も進展しました。

一方、これまでの為替の円安傾向は、2022年12月の日本銀行による金融政策の一部変更により為替が円高に振れることとなり、当社売上を下押ししました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は2,103,471千円（前年同期比89.4%増）、営業利益は1,056,127千円（前年同期比172.7%増）、経常利益は1,047,839千円（前年同期比166.9%増）、四半期純利益は727,170千円

（前年同期比154.5%増）となりました。また、当第3四半期累計期間の製品種類別の売上高は、種結晶2,024,311千円（前年同期比94.9%増）、基板及びウエハは36,185千円（前年同期比21.3%増）、光学系及びヒートシンクは26,828千円（前年同期比28.5%増）、工具素材は16,145千円（前年同期比24.1%減）となりました。

なお、当社はダイヤモンド単結晶の製造、販売、開発事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載をしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は5,743,872千円となり、前事業年度末に比べ2,926,318千円増加いたしました。これは主に、東京証券取引所グロース市場への上場に伴う公募増資等により現金及び預金が1,048,182千円、有形固定資産が1,511,867千円、仕掛品が134,559千円、売掛金が109,996千円増加したこと等によるものです。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債は996,127千円となり、前事業年度末に比べ223,833千円増加いたしました。これは主に、長期借入金（1年内返済予定を含む）が66,743千円減少したものの、その他流動負債に含まれる未払金が71,377千円、未払法人税等が200,385千円、退職給付引当金が10,545千円増加したこと等によるものです。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は4,747,745千円となり、前事業年度末に比べ2,702,485千円増加いたしました。これは主に、東京証券取引所グロース市場への上場に伴う公募増資や新株予約権の行使等により資本金及び資本準備金がそれぞれ988,495千円、四半期純利益計上により利益剰余金が727,170千円増加したこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、売上2,706百万円、営業利益1,242百万円、経常利益1,217百万円、純利益840百万円を予想しており、2023年2月10日に公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、当該業績予想につきましては、本日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,066,995	2,115,178
売掛金	137,988	247,984
製品	17,354	27,677
仕掛品	129,407	263,966
貯蔵品	24,680	33,489
その他	42,128	147,166
流動資産合計	1,418,554	2,835,462
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	161,280	914,337
機械及び装置(純額)	1,058,533	1,573,622
建設仮勘定	109,810	320,995
その他(純額)	6,235	38,771
有形固定資産合計	1,335,860	2,847,727
無形固定資産	5,946	6,798
投資その他の資産	57,192	53,884
固定資産合計	1,398,999	2,908,410
資産合計	2,817,554	5,743,872
負債の部		
流動負債		
買掛金	18,311	15,472
1年内返済予定の長期借入金	89,784	119,144
未払法人税等	88,784	289,170
賞与引当金	23,168	5,758
役員賞与引当金	18,000	—
その他	119,139	197,658
流動負債合計	357,188	627,203
固定負債		
長期借入金	350,054	253,951
退職給付引当金	1,707	12,252
資産除去債務	63,344	102,720
固定負債合計	415,105	368,924
負債合計	772,294	996,127
純資産の部		
株主資本		
資本金	495,170	1,483,665
資本剰余金	1,024,770	2,013,265
利益剰余金	525,319	1,252,489
自己株式	—	△1,674
株主資本合計	2,045,259	4,747,745
純資産合計	2,045,259	4,747,745
負債純資産合計	2,817,554	5,743,872

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	1,110,762	2,103,471
売上原価	510,268	655,922
売上総利益	600,493	1,447,548
販売費及び一般管理費	213,210	391,420
営業利益	387,283	1,056,127
営業外収益		
為替差益	13,539	22,647
その他	118	548
営業外収益合計	13,658	23,196
営業外費用		
支払利息	8,283	2,893
上場関連費用	—	11,222
株式交付費	—	14,670
その他	88	2,697
営業外費用合計	8,371	31,483
経常利益	392,570	1,047,839
特別利益		
固定資産売却益	653	—
特別利益合計	653	—
特別損失		
固定資産除却損	9,164	27
特別損失合計	9,164	27
税引前四半期純利益	384,059	1,047,812
法人税、住民税及び事業税	48,875	315,551
法人税等調整額	49,452	5,089
法人税等合計	98,327	320,641
四半期純利益	285,731	727,170

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、株式会社東京証券取引所より上場承認を受け、2022年6月27日に東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。この株式上場にあたり、2022年6月24日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株式発行360,000株により資本金及び資本準備金がそれぞれ828,000千円増加しております。また、2022年7月27日付けで、SMBC日興証券株式会社からオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資の払込を受け、資本金及び資本準備金がそれぞれ147,890千円増加しております。

この結果等により、当第3四半期会計期間末における資本金は1,483,665千円、資本剰余金は2,013,265千円となっております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

当社は、ダイヤモンド単結晶の製造、販売、開発事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

当社は、ダイヤモンド単結晶の製造、販売、開発事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更)

当社は、2023年2月10日開催の取締役会において、株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更を行うことを決議いたしました。

(1) 株式分割の目的

投資単位当たりの金額を引き下げることにより、当社株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的としております。

(2) 株式分割の概要

① 分割の方法

2023年3月31日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式を、1株につき5株の割合をもって分割いたします。

② 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	2,624,200株
株式分割により増加する株式数	10,496,800株
株式分割後の発行済株式総数	13,121,000株
株式分割後の発行可能株式総数	40,000,000株

(注) 上記の発行済株式総数は、新株予約権の行使により株式分割の基準日までの間に増加する可能性があります。

③ 分割の日程

基準日公告日	2023年3月14日
基準日	2023年3月31日
効力発生日	2023年4月1日

④ 1株当たりの情報に及ぼす影響

当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
1株当たり四半期純利益	26円62銭	58円80銭
潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	—	56円06銭

(3) 株式分割に伴う定款の一部変更

① 定款変更の理由

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、2023年4月1日をもって、当社定款第6条の発行可能株式総数を変更いたします。

② 定款変更の内容

変更の内容は以下のとおりであります。

(下線は変更箇所を示しております。)

現行定款	変更後定款
(発行可能株式総数) 第6条 当社の発行可能株式総数は、 8,000,000株とする。	(発行可能株式総数) 第6条 当社の発行可能株式総数は、 <u>40,000,000株</u> とする。

③ 定款変更の日程

効力発生日 2023年4月1日

(4) その他

① 資本金の額の変更

今回の株式分割に際して、資本金の額の変更はありません。

② 新株予約権の行使価額の調整

今回の株式分割に伴い、当社発行の新株予約権の1株当たり行使価額を2023年4月1日以降、以下のとおり調整いたします。

	取締役会決議日	調整前行使価額	調整後行使価額
第8回新株予約権	2016年10月28日	1,000円	200円
第9回新株予約権	2017年5月29日	1,100円	220円
第10回新株予約権	2018年6月26日	1,100円	220円
第11回新株予約権	2019年6月18日	1,500円	300円
第12回新株予約権	2019年6月18日	1,500円	300円
第13回新株予約権	2020年3月31日	1,500円	300円
第14回新株予約権	2020年6月19日	1,500円	300円
第15回新株予約権	2021年4月20日	1,500円	300円
第16回新株予約権	2021年6月18日	1,800円	360円